

疫学情報 2017年1月31日

<http://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/?lang=ja>

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科

[http://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/cms/wp-](http://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2016/12/b7f2e2fc4c26fd812742263291fa8860.pdf)

[content/uploads/2016/12/b7f2e2fc4c26fd812742263291fa8860.pdf](http://www.tmgh.nagasaki-u.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2016/12/b7f2e2fc4c26fd812742263291fa8860.pdf)

NCGM サテライト（東京キャンパス）が新設。

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科は、平成29年10月から国立研究開発法人国立国際医療研究センター（NCGM：東京都新宿区戸山1-21-1）にサテライトキャンパス（名称：NCGM サテライト）を開校します。サテライトキャンパスでは、基本的に自宅や職場等で講義をWeb上で聴講し、夜間・休日に登校する、という社会人専用のコースを開設。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000148582.html> 健康局健康課

2016年12月8日 第5回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会 議事録（平成28年12月8日（木）10：00～12：00）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000149425.html> 厚生労働省省議室

第24回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、平成28年度第10回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会 資料

資料1 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（DPT）の副反応疑い報告状況

資料2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド（DT）の副反応疑い報告状況

資料3 ジフテリアトキソイドの副反応疑い報告状況

資料4 沈降破傷風トキソイドの副反応疑い報告状況

資料5 不活化ポリオワクチン（ソークワクチン）の副反応疑い報告状況

資料6 沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ（セービン株/ソークワクチン）混合ワクチンの副反応疑い報告状況

資料7 沈降7価肺炎球菌結合型ワクチン（無毒性変異ジフテリア毒素結合体）の副反応疑い報告状況

資料8 沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン（無毒性変異ジフテリア毒素結合体）の副反応疑い報告状況

資料9 Hib（ヒブ）ワクチンの副反応疑い報告状況

資料10 乾燥BCGワクチンの副反応疑い報告状況

資料11 日本脳炎ワクチンの副反応疑い報告状況

資料12 組換え沈降B型肝炎ワクチン（酵母由来）の副反応疑い報告状況

資料13 経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチンの副反応疑い報告状況

資料14 5価経口弱毒生ロタウイルスワクチンの副反応疑い報告状況

資料15 ロタウイルスワクチンに係る腸重積症に関する報告

資料16 ワクチンに関する死亡報告一覧（2種類以上のワクチンが同時接種された症例について、その組み合わせがわかる）

<http://www.cabrain.net/news/article/newsId/50432.html> 医療介護 CB ニュース -

梅毒治療、指針にペニシリン解禁の方向性も- 厚労省、厚科審小委に論点案提示

厚生労働省は 23 日、厚生科学審議会感染症部会のエイズ・性感染症に関する小委員会に対し、1 回の筋肉内注射で済む梅毒治療薬「ペニシリン G」の効果などを検討する論点案を示した。海外では同剤による治療が標準的だが、国内では副作用を懸念して行われていない。ただ、1 回の注射で済むため、複数回の投与が必要な従来の薬と比べ、途中で治療を止める患者が減ることが期待できる。梅毒の感染拡大に対処するため、厚労省と小委員会は今後、同剤の“国内解禁”の必要性を性感染症の予防指針に盛り込む方向で調整する。

<http://www.city.gobo.wakayama.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/2/gakko-kyusyoku.pdf>

御坊市の学校給食から「ノロウイルス G II 型」が検出された件について

今回発生しました集団食中毒について、御坊市立給食センターが提供した給食から「ノロウイルス G II 型」が検出され、学校給食が原因であることが特定されました。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/consumer/cyudoku/documents/shiryouteikyou.pdf>

和歌山県環境生活部県民局食品・生活衛生課（直通）073-441-2624

和歌山県学校教育局健康体育課（直通）073-441-3694

御坊保健所管内における食中毒発生について

次のとおり食中毒事件が発生しましたので、お知らせします。

#### 1 事件の概要

- (1) 発生日時平成 29 年 1 月 26 日（木） 13 時（初発有症者）
- (2) 喫食者 2,041 名
- (3) 有症者 719 名（全員快方に向かっている）

#### 1 月 27 日 15 時調査現在【御坊市教育委員会調べ】

- （内訳） 園児・児童・生徒 1,943 名中 651 名 教職員 98 名中 68 名
- (4) 症状嘔吐、発熱、下痢等
  - (5) 原因食品平成 29 年 1 月 25 日に下記原因施設が調理した給食  
メニュー：塩ちゃんこ、磯和え、ご飯、牛乳
  - (6) 病因物質ノロウイルス G II（有症者の便 15 検体のうち、15 検体から検出）
  - (7) 検査等有症者及び調理従事者の便、検食、施設の拭き取り

#### 2 発生の経緯

1 月 26 日（木）22 時頃、御坊市内の医療機関から御坊保健所に、御坊市内の小中学生が嘔吐、下痢等の症状を呈し、十数名が受診した旨の連絡がありました。

これを受けて、御坊保健所が調査したところ、御坊市立給食センターが調理した給食を食べた、御坊市及び日高川町の園児、児童、生徒、教職員 2,041 名のうち 719 名が、嘔吐、発熱、下痢等の食中毒様症状を呈していたことが判りました。

御坊保健所長は、これら有症者の共通食が下記施設が調理した給食であること、発症状況が酷似していること、また、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、下記施設が調理した給食を原因とする食中毒と断定しました。

### 3 措置

御坊保健所長は、下記営業者に対し、14日間の営業停止処分としました。

平成29年1月28日（土）～2月10日（金）

### 4 原因施設

所在地：和歌山県御坊市塩屋町南塩屋 1664-3

名称：御坊市立給食センター

営業者：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

代表取締役関口昌太郎

許可業種：飲食店営業

### 参考

食中毒発生状況（和歌山市を含む）

本年（本件を含まず）0件患者数0名 昨年同時期0件患者数0名

昨年合計6件患者数117名